■中央市まちづくりアクションプラン行動計画　進捗管理一覧表（令和７年度取り組み状況）

【観光戦略】

| シート | No. | 担当課 | 担当 | 分野 | 重点的に展開する施策 | 具体的な取り組み | 取り組み内容 | 現状と課題<br>(令和8年3月末時点) | 進捗状況 | ロードマップ<br>ファーストステップ【3年以内】<br>令和6年度 | ロードマップ<br>ファーストステップ【3年以内】<br>令和7年度 | ロードマップ<br>ファーストステップ【3年以内】<br>令和8年度 | ロードマップ<br>セカンドステップ<br>【リニア開業まで】 | ロードマップ<br>サードステップ<br>【リニア開業後】 | 令和7年度<br>実施内容及び今後の問題点 | 令和8年度の実施予定 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 観① | 78<br>79<br>80 | 企画課 | 企画総務担当 | 観光戦略 | にぎわいの創生による交流人口の拡大 | リニア山梨県駅からの移動手段の確保 | ・レンタサイクルやシェアサイクルの整備の推進・誘導<br>・様々なニーズに応じたレンタカーの拠点整備の誘導<br>・電気自動車専用充電スタンド、燃料電池自動車専用水素ステーションの整備の推進 | ・リニア山梨県駅からの移動手段に関する関係機関との協議は、開業時期が延期されたこともあり深度を増していない。<br>・レンタサイクルやシェアリングサイクルの整備に関しては、山梨県が令和7年度に甲府市街地エリアにおけるマイクロモビリティを活用したモビリティハブ実証事業を行い、その後2年かけて深耕し、令和10年度に県交通計画への反映が予定されている。ついては、同計画の策定協議と併せて情報収集を継続する。 | ・リニア関連協議会から県、JR東海へのリニア中央新幹線の早期実現及び圏域の活性化に資する事項の要望を継続する。<br>・導入事例確認を継続する。 | 導入事例確認 | | 導入検討 | | 需要に応じた整備の推進 | ・リニア関連協議会から県、JR東海へのリニア中央新幹線の早期実現及び圏域の活性化に資する事項の要望<br>・導入事例確認 | ・リニア関連協議会から県、JR東海へのリニア中央新幹線の早期実現及び圏域の活性化に資する事項の要望<br>・導入事例確認 |
| 観② | 77 | 産業課 | にぎわいづくり担当 | 観光戦略 | にぎわいの創生による交流人口の拡大 | 商業機能の誘致 | 商工会と連携、協力した地域商店への集客策、消費を促す施策の検討及び地域商店の活性化：② | 近隣にある大型店舗との競合や個人商店の高齢化により、中小店舗の減少が続いている。<br>地域商店への集客が早急な課題となっている。 | ふるさとまつりやサイクルイベント等で商工会と連携し、商店や商品のPR活動を行っている。 | イベント企画の連携強化検討 | | | | | ・イベント企画の連携強化検討<br>・首都圏・中部圏からの集客効果のある施策の検討が必要 | ・引き続きイベント企画の連携強化の検討を行う。<br>・経営相談会の実施<br>・販路拡大に関する支援策の検討 |
| 観③ | 78<br>79 | 産業課 | にぎわいづくり担当 | 観光戦略 | にぎわいの創生による交流人口の拡大 | リニア山梨県駅からの移動手段の確保 | ・レンタサイクルやシェアサイクルの整備の推進・誘導<br>・様々なニーズに応じたレンタカーの拠点整備の誘導 | ・今後導入の検証を行い、需要の有無も含め検討する。<br>・レンタカーに関しても、必要台数・保管場所・費用及び需要の有無も含め検討する。<br>また、レンタサイクルやシェアサイクル及びレンタカーの運営委託の検討を行う。 | 他自治体観光地のレンタサイクルやシェアサイクル及びレンタカーの導入事例を確認 | レンタサイクルやシェアサイクル及びレンタカー導入事例確認 | | レンタサイクルやシェアサイクル及びレンタカー導入検討・需要の確認 | | | ・他自治体観光地のレンタサイクルやシェアサイクル及びレンタカー導入事例を確認<br>・都市部や観光地に多いレンタサイクルやシェアサイクルの導入を検証し、需要も把握するなかで、導入の有無について検討が必要<br>・関係部署との内容協議が必要となる。 | 他自治体観光地のカーシェアリング・シェアサイクルの導入事例を基に、導入の検討や需要の確認を行う。 |
| 観④ | 84<br>85<br>86 | 産業課 | にぎわいづくり担当 | 観光戦略 | 本市の特徴を活かした観光資源の充実・PR | 地域資源の活用と新たな観光資源の開発 | ・田園からの富士山や南アルプス、八ヶ岳などの優れた眺望景観の保全とビューポイントの整備の検討：①<br>・既存の地域資源の活用も踏まえた観光案内拠点の整備の検討（例：温泉や農産物直売所など、立ち寄り機能を含む）：①<br>・地域のニーズなどを踏まえた新たな観光資源の開発・PR：② | まちづくりに関するアンケート調査で、来訪者に伝えたい本市の魅力で最も多い回答は、「自然が豊かで身近に感じられる」であることから、本市の絶景ポイントとなる場所の選定や、農産物等特産品をPRしていく。また、来訪された方に本市の魅力が伝わるよう、観光案内を含めた拠点の整備や、新たな観光資源を開発していく必要がある。 | 本市の観光施設である「シルクふれんどりぃ」をリニューアルし、宿泊施設の充実を図るとともに、来訪者へのPRを行っている。また、民間企業と連携し、たいら山を活用したイベントを実施した。 | | 眺望景観場所の検討<br>観光案内拠点整備の検討<br>たいら山を活用したイベント開催 | | | ・眺望景観場所の検討<br>・たいら山トレッキングコース整備の実施<br>・本市の魅力が感じられるイベントの実施 | ・眺望景観場所の検討<br>・道の駅とよとみのリニューアルの検討<br>・たいら山を活用したイベント開催 |
| 観⑤ | 75<br>76 | まちづくり推進課 | 企業立地推進担当 | 観光戦略 | にぎわいの創生による交流人口の拡大 | 商業機能の誘致 | ・駅から歩いて行ける場所への商業施設の誘致：①<br>・にぎわい・交流ゾーンにおける事業化検討：① | 県・国との基本計画変更協議の上、リニア駅周辺エリアの「産業振興ゾーン」、「にぎわい・交流ゾーン」について、ものづくり分野と観光分野で地域未来投資促進法に基づく重点促進区域としてそれぞれ設定が完了。<br>今後は、開発事業者の選考方法に関して、要項を作成し、適切な時機を見極めた上で事業者の公募を実施する。 | 地域未来投資促進法を活用するため、県・国との協議の上、基本計画の変更、重点促進区域の設定の手続きが完了。（国同意日：令和6年9月20日）<br>また、山梨県や甲府市との近隣自治体の動向やリニア工事の進捗状況を注視し、適切な時機に事業者選考が実施できるように準備を進めている。 | 重点促進区域の設定 | 事業者選考準備 | | 事業者　事業着手～ | | 山梨県、甲府市など近隣自治体の動向、リニア工事の進捗状況のバランスを配慮して取組みを推進する必要がある。 | 地域未来投資促進法を活用した開発可能性調査を実施し、企業ニーズの把握及び開発可能性について調査を行うとともに、事業者選考が適切な時機に実施できるよう情報収集に努める。 |
| 観⑥ | 81<br>82<br>83 | まちづくり推進課 | 企業立地推進担当 | 観光戦略 | にぎわいの創生による交流人口の拡大 | 地域特性に応じた宿泊施設の誘致 | ・観光客、大都市圏との繋がりによる出張者などを見据えた宿泊施設の誘致の検討：①<br>・外国人向け、都心部からの農業体験に訪れる宿泊者などをターゲットとした宿泊施設の誘致：①<br>・山梨大学医学部附属病院と連携した医療ツーリズムの受け皿となる宿泊施設の誘致：② | リニア中央新幹線の開業時期が不透明なため、企業訪問での企業側の関心、ニーズの把握は限定的な状況。 | 企業との情報・意見交換を実施し、企業ニーズの把握に努めている。 | ①宿泊施設の誘致に向けた支援（土地利用規制の緩和など） | | | | | 企業と情報・意見交換を実施し、リニア開業時期が不透明であるが、引き続き宿泊施設に関する企業の需要について、把握に努めていく。 | 引き続き企業との情報・意見交換を行うとともに、先進地の視察を重ねながら、宿泊施設の開発需要の把握に努める。 |
| | | | | | | | | | | ②医療ツーリズムの具体化に向けた協議 | | | | | | |